

丘の大地

No.1152

1月号

2020 January

2020年 あけましておめでとう!

今年の干支「ねずみ」になりきって元気いっぱい!



新年
特集号

年頭の
ごあいさつ

組合員所得向上に向けて 変革期への対応をしつかりと



代表理事専務
浦島 規生



代表理事組合長
熊谷 留夫

新年にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様方には、令和に年号が変わり、初となる新年をご健勝にて迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日々の営農とあわせ、地域農業の振興に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年、美瑛町農業は、平成30年度の気象状況と打って変わり、春作業が比較的順調に推移し、一時的な猛暑、干ばつによる生育への不安はありましたが、収穫期には好天に恵まれ、作柄としては良好な年となりました。

しかし、本町に被害はなかったものの、昨年9月の台風15号、10月の台風19号により尊い命が失われたと

ともに、全国各地で農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生するなど、近年見られる異常気象による農業への被害は測り知れません。

昨年の作況を振り返りますと、米は平年作を確保し、畑作、蔬菜も収量・品質とも総じて平年作以上となり、酪農・畜産は安定基調と、組合員皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

町総体の農業総生産高見込みでは、128億円、交付金を加算しますと164億円にのぼり、過去最高となったところであります。

昨年は第10次中期5カ年地域農業振興計画の実践初年度であり、このような順調な始まりとなりましたことは喜ばしくもあります。しかし、現状に甘んずることなく手綱を締め直し、本計画の柱であります組合員

皆様の所得向上に向けて、役職員一丸となり努めてまいります。

近年の本町農業は、世代交代も進み、組合員の平均年齢は若年化傾向にある半面、離農などにより一戸当たりの耕作面積は年々拡大している現状にありますが、組合員皆様の地域農業を守る意思の強さにより、地域全体の耕作面積は変わることなく維持されています。

今後は、更なる労働力不足、機械化による費用負担の増加など、大きな課題も予測されるところですが、このような課題の打開策に関しては、農業労務対策・コントラクター事業・スマート農業を今まで以上にスピード感をもって推進して行くと同時に、組合員の経営課題に対する幅広いソリューションの提供を通じて、組合員の満足度向上に向け取り組ん

謹んで新春の お慶びを申し上げます



◆代表理事組合長	熊谷 留夫
◆代表理事専務	浦島 規生
◆常務理事（学識経験者）	渡辺 和也
◆理事 （総務委員長・農家経済対策特別委員）	藤田 元弘
◆理事 （業務委員長・農家経済対策特別委員）	真田 佳則
◆理事 （総務副委員長・農家経済対策特別委員）	米田 浩幸
◆理事 （業務副委員長・農家経済対策特別委員）	江花 秀一
◆理事 （農家経済対策特別委員長・総務委員）	村上 聡和
◆理事 （農家経済対策特別副委員長・業務委員）	吉井 鉄也
◆理事（総務委員）	櫻井 盛明
◆理事（総務委員）	下司 和広
◆理事（業務委員）	山田 剛
◆理事（業務委員）	青嶋 秀雄
◆理事 （学識経験者/信用担当）	中村 紀之
◆代表監事	山本 英之
◆常勤監事（員外監事）	吉尾 豊
◆監事	太田 満
◆監事	福田 弘行
◆監事	谷口 学
	外職員一同

でいるところです。

国際貿易交渉の状況は、昨年9月に行われた日米首脳会談で、農産物や工業品などについての日米貿易協定が最終合意に至り、共同声明に署名しました。日本は農産物でTPPをほぼ完全実施し、アメリカは自動車でTPPを拒否するという結果になり、日本側の一方的譲歩が浮き彫りになりました。

TPP11、日EU・EPAといった大型国際貿易協定が発効、さらに

は日米貿易協定が今後発効される見通しであることから、ますます国際競争が激化することが予想され、日本の農業・農村を取り巻く情勢は大きな変革期を迎えております。

このような情勢の中、「総合的なTPP等関連政策大綱」の改訂に向けて、農業者が意欲と将来展望を持って営農に取り組める環境作りと、持続可能な北海道農業を確立するため、JAグループでも毅然とした対応を求めています。

また、規制改革推進会議による農協改革では、昨年5月末をもって、5年にわたる農協改革集中推進期間が終了し、その間、JAグループは農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の創生を目標とする創造的自己改革の実践に取り組んできました。現在、次なる農協改革もささやかれています。今後JAグループは自主自律の組織として組合員・地域とともに持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向け

自己改革を不断に進めてまいります。本年も組合員の皆様と共に信頼されるJAをめざし、より効果的な事業運営を行ってまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の門出にあたりまして、皆様のご多幸とご健勝を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。





2/4 営農技術研修会



1/7 新年交礼会



2/25
加工馬鈴薯コントラ協議会
定期総会



2/27 女性部定期総会

トピックス

JAこの一年

激変する

農業環境への対応を

令和元年は、元号が変わる大きな節目の年となり、大型国際貿易協定の発効や大筋合意など、様々な環境変化の年となりました。農業においても、台風による強風や大雨の影響など、自然相手の仕事の厳しさを思い知らされるような場面が数多く報道されました。本町においては、春先の融雪はほぼ順調で、その後一時的な低温や猛暑、干ばつはありました

が、収穫期の好天や遅い初雪により、無事に収穫作業を終えることができた。当JA事業といたしましては、コントラクター事業拡大を図るための馬鈴薯受入選別施設の増強など、労働力不足や規模拡大への対応を一層強化した年となりました。国際競争の激化が予想される中で展開された当JA事業を振り返ります。

2019年の動き

事業活動を振り返って

1月

仕事始め

豊穰・安全祈願祭

新年交礼会

五穀豊穰祈願祭・新春懇談会

美瑛養豚会家族交流会

タスマニア研修報告会

とまと生産部会定期総会

年金友の会湯治

26
28日

2月

営農技術研修会

JAびえい杯ゲートボール大会

青年部定期総会

メロン生産部会定期総会

フレッシュミセス会定期総会

種子馬鈴薯生産組合定期総会

麦作生産部会定期総会

馬鈴薯生産部会定期評議員会

豆作生産部会定期総会

美瑛町農業機械協議会定期総会

稲作生産部会定期総会

大根生産部会定期総会

加工馬鈴薯コントラ協議会定期総会

報徳社実践農業講座

報徳社定期総会

アスパラ生産部会定期総会

女性部定期総会

長葱生産部会定期総会

27日 27日 26日 26日 26日 25日 22日 18日 18日 15日 14日 13日 8日 8日 6日 6日 4日 4日



3/11・13 第64回地区懇談会



3/5 タスマニア州政府首相との調印式



3/12 青年部・Fミセス会
合同リーダー研修会



5/21 あぐりスクールinびえい田植え



4/5 第68回通常総代会



3/19 新農業人研修修了証書授与式



6/27
タスマニア研修報告会



6/3 獣魂祭

6月
獣魂式 3日
美瑛ヘルシーマラソン2019 9日
とまと生産部会消流懇談会 18日
報徳社交流会 22日
馬鈴薯生産部会フィールドデイ 24日
タスマニア研修報告会 27日
あぐりキッチン教室 29日

5月
新規採用者農業実習 7日
新農業人激励のつどい 13日
エゾ鹿協議会総会 14日
鹿プラ協議会総会 20日
あぐりスクールinびえい田植え 21日
JAびえい食品株主総会 24日
JAびえい販売株主総会 24日
美瑛アグリサポート株主総会 24日

4月
朝会／新規採用辞令交付 1日
第68回通常総代会 5日
酪農婦人部定期総会 9日
年金友の会総会 12日
ホクレン100周年記念式典 18日
酪農ヘルパー利用組合定期総会 23日
乳牛検定組合定期総会 23日

3月
タスマニア州政府首相との調印式 5日
百合根生産部会定期総会 8日
第64回地区懇談会 11日・13日
青年部・Fミセス会合同リーダー研修会 12日
新農業人研修修了証書授与式 19日
ニンジン生産部会定期総会 22日
酪農振興部会定期総会 28日
第10次中期5カ年計画策定委員会 29日



7/10 びえい小麦キャンプ



7/4 馬鈴薯受入選別施設竣工式



8/22 GPSトラクター講習会



7/11
組織活動交流会



9/30 あぐりスクールinびえい稲刈り



8/24 どかんと農業まつり

7月				8月				9月				10月			
農林水産省とJAグループ北海道との意見交換会	2	3	日	GPSトラクター講習会	22	日		日本甜菜製糖株式会社創立100周年記念祝賀会	2	日		第12回JAびえいパークゴルフ大会	5	日	
馬鈴薯受入選別施設竣工式	4	日		百合根部会消流懇談会	23	日		酪農家族懇談会	7	日		JAグループかみかわ農業祭2019	14	日	
穀類乾燥貯蔵施設安全祈願	8	日		どかんと農業まつり	24	日		令和元年産米初検査	14	日		異業種人材育成研修に係る最終報告会	26	日	
馬鈴薯市場懇談会	9	日						美瑛町120周年記念式典ならびに美瑛町開拓記念式典	15	日					
びえい小麦キャンプ	10	日						第14回JAびえい組合長杯パークゴルフ大会	24	日					
組織活動交流会	11	日						あぐりスクールinびえい稲刈り	30	日					
麦作合同会議	12	日													
ライスセンター受入式	18	日													
町営白金牧場定期総会	18	日													
支部安全狩猟射撃大会	21	日													
美瑛神社例大祭・御神幸式	25	日													



11/15 青年部・Fミセス会ミニバレー大会



11/6・8
中学生テーブルマナー講習



12/6 集落代表者研修会



11/27・12/2・9
小学生食育調理実習



12/17 報徳社員交流会



11/21 学校給食 美瑛米・食パン贈呈式



12月

集落代表者研修会 6日
麦作合同会議 12日
報徳社員交流会 17日
美瑛町へ鏡餅謹呈 27日
仕事納め 30日

11月

産業懇談会 5日
中学生テーブルマナー講習 6日・8日
第24回東京美瑛会総会 9日
役員海外視察研修 10日・18日
JA北海道大会実践フォーラム 12日
大嘗祭 14日
青年部・Fミセス会ミニバレー大会 15日
農協法公布記念朝会 19日
組合員宅一日一斉皆訪問 19日
学校給食 美瑛米・食パン贈呈式 21日
穀類乾燥調製施設工員終業式 25日



営農ガイド

大雪地区 普及センター 農業改良

EINOU GUIDE

**令和元年の
生育を顧みて**

水稲

融雪は足踏み

3月中旬の降雪が災い？

美瑛町の融雪期は4月13日となりました。平年比較で3日遅れとなったため、作業スタートも若干遅れ気味でした。温湯消毒済種子の受け渡しは3月26日から始まりました。

種子の引き取り後は、予措作業及び育苗ハウスの準備等が開始されました。特に成苗は早期異常出穂等の恐れがあるので育苗日数を長くしないように作業を進めました。5月下旬は高温になって、一部のハウスでは影響を受けました。高温によるヤケ等の大きな障害はありませんでした。

本田作業では、耕起盛期は5月2日で平年並みに進み、順次代掻き作業と展開されました。

**今年も移植作業は
管内トップスタートでした**

美瑛町では移植作業の走りが5月8日と早く始まりました。

過去であれば、移植後に低温になって初期生育が抑えられ、植え傷み等が見られましたが、昨年は高温多照で良好に経過したため、早く移植した苗は、短期間で活着し初期生育は順調となりました。

6月は過去にないくらい安定した気候となりました。（図1）

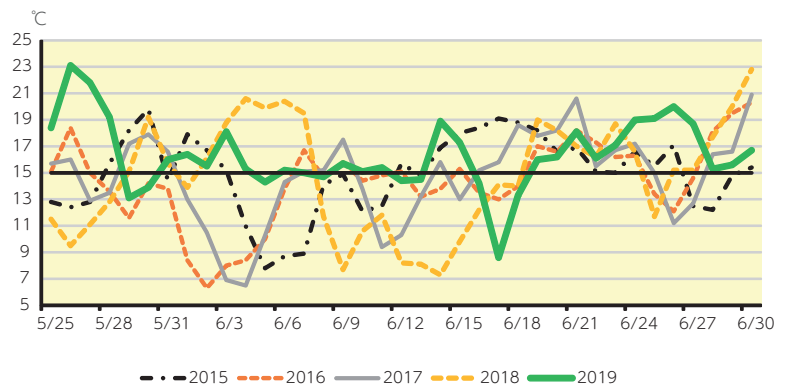


図1 5月下旬から6月にかけての気温の経過

**生育は、ほぼ
平年並みで経過した**

移植後は気温も高く経過して初期生育は順調でした。雑草の発生も早まり、除草剤で抑え切れないほ場も見られました。（図2）

出穂は平年より2日程度早まりましたが、揃いまでにやや日数を要しました。

**登熟初期は高温多照で
稲は元気に生育した**

登熟前半は高温多照の中で経過したため、稲は旺盛に土壌窒素を吸収し、玄米タンパク含量はやや高めとなりました。登熟時の温度が高かったためアミロース

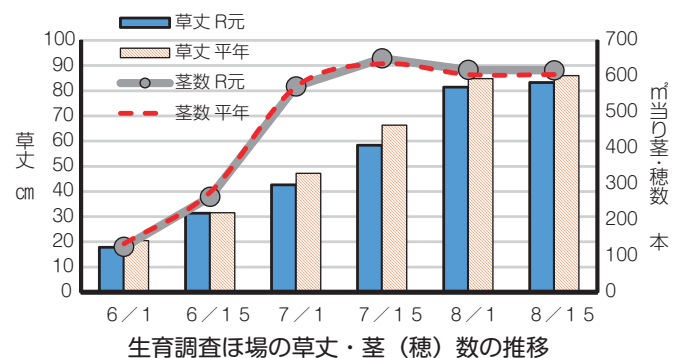


図2 大雪地区水稲生育の推移

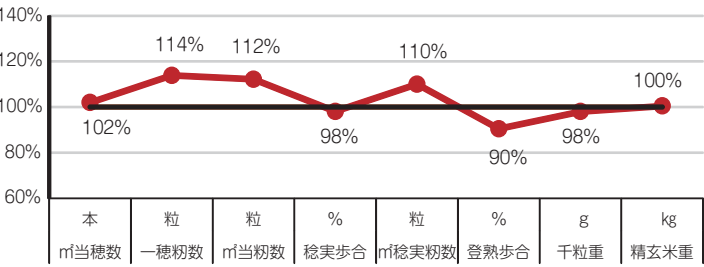
**9月中旬の日照不足が
登熟進度を緩慢に**

農政事務所からの作柄は、昨年の不良から転じて今年は北海道の作況指数104のやや良、上川管内も105と発表されました。

出穂開花の期間は良好に経過したため、順調に登熟が進めば収量も期待出来たのですが、9月中旬の日照不足が登熟進度を緩慢にし、青未熟粒に繋がりました。

成熟期は9月10日となり、平年比で1日早まった程度となりました。

生産者の実収量には振れがありますが、製品収量が平年並みとなりました。



収量構成要素等平年比

図3 収量構成要素・収量

病害虫の発生状況は、夏場高温に経過したので、カメムシの発生量は多く被害が心配されましたが、適正な防除によりきわめて僅かな被害で済みました。いもち病の発生はありませんでした。

㎡当たり穂数は平年並みになりました。一穂の粒数は14%程度多くなり作柄に期待が掛かりましたが、登熟歩合が平年比90%と低下したために収量は平年並みとなりました。（図3）

年	収量 kg/10a			指数		
	全国	北海道	上川	全国	北海道	上川
H27	531	559	582	101	100	101
H28	544	551	572	100	103	99
H29	534	560	576	100	100	99
H30	529	495	513	90	98	90
R1	529	571	599	99	104	105

表1 作況指数と収量

表1 美瑛町における根雪始・融雪期

項目	根雪始	融雪期	根雪期間
R 1	12月6日	4月13日	128
平年	11月26日	4月10日	137
平年差	遅10日	遅3日	短9日

畑作

昨年の融雪は平年より3日遅かったものの、その後好天が続き耕起始は平年より5日早くなりました（表1）。

春のは種・植付作業は概ね順調に終了しました。農耕期間（4～10月）の積算平均気温は平年比108%、積算日照時間は同112%、積算降水量は同94%と比較的良好な気象条件で経過したことから、作物の生育は全体的に平年よりやや早く推移し、収量・品質も平年並み良いものになりました。

しかし、秋まき小麦の赤さび病、ばれいしよ茎葉の早期枯れ上がりなど、特徴的な事象も見られました。病害の発生好適条件に応じた予防的防除、気象変動の影響を緩和する土壌環境改善の重要性を再確認させられたのではないのでしょうか。

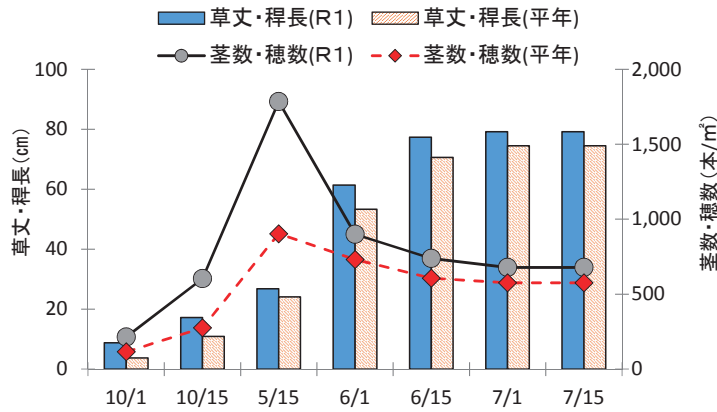


図1 令和元年産きたほなみの生育経過

1 秋まき小麦（きたほなみ）

（1）生育経過（表2・3、図1）

融雪後、平年並に起生期を迎えました。起生期以降、気温と日照時間に恵まれ、止葉期は平年より3日早くなりました。出穂前後は一時的に低温、湿潤寡照となりました。その後、登熟期間は少雨、日照時間の少ない気象条件で経過しました。成熟期は平年より4日早く、収穫作業は平年より3日早く始まりました。

昨年、根雪前に十分な生育量を確保し、雪腐病による茎数の減耗も軽微だったことから、起生期以降の草丈と茎数は、平年を上回って推移しました。最終的な穂数は678本/㎡（平年比118%）となりました。

表2 秋まき小麦（きたほなみ）の生育期節・収穫作業

項目	生育期節						農作業期		
	起生期	幼穂形成期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
R 1	4月20日	5月12日	5月28日	6月5日	6月27日	7月17日	7月21日	7月24日	7月31日
平年	4月20日	5月10日	5月31日	6月8日	7月1日	7月21日	7月24日	7月27日	8月2日
遅速	±0	遅2日	早3日	早3日	早4日	早4日	早3日	早3日	早2日

表3 生育期節間の気象経過（アメダス美瑛）

項目	積算平均気温(℃)			積算降水量(mm)			積算日照時間(hr)		
	起生期～止葉期	止葉期～出穂期	出穂期～成熟期	起生期～止葉期	止葉期～出穂期	出穂期～成熟期	起生期～止葉期	止葉期～出穂期	出穂期～成熟期
R 1	456	142	734	80	19	68	302	46	225
平年	367	121	724	78	19	101	226	55	243
平年比(%)	124	118	101	102	99	68	134	83	93

表4 秋まき小麦（きたほなみ）の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m ² 当り 穂数（本）	1穂粒数 （粒/穂）	千粒重 （g）	子実重 （kg/10a）	歩留※ （%）	蛋白 含有率 （%）
R 1	678	30.8	41.6	842	97	12.2
平年	586	31.5	41.5	700	92	12.4
平年比(%)	116	98	100	120	105	-0.2pt

※ 1 穂粒数・千粒重2.3mm網上

（2）病害虫の発生状況
5月下旬に「赤さび病」が確認されました。その後、乾燥した好適条件で「赤さび病」の病勢は強まり、「きたほなみ」では全町的な発生となりました。また、連作等で土壌中の菌密度の高まる「立枯病」が排水性の劣る転作畑などを中心に認められました。
昨年問題となった「赤かび病」や「ふ枯病」はほとんど見られませんでした。

（3）作況における収量構成要素（表4）
1 穂粒数と千粒重は平年並でしたが、穂数と歩留が平年を上回り、子実重は平年比120%となりました。
子実蛋白は12.2%と平年並の水準でした。

（5）令和2年産秋まき小麦の生育状況（表5）
9月初旬「ゆめちから」を中心に種が始まり、は種始は平年より5日早くまりました。しかし、9月11日以降に続いた降雨により、作業は中断・遅延し、は種終は平年より2日遅れました（9月11～20日の合計降水量60mm。期間中、日降

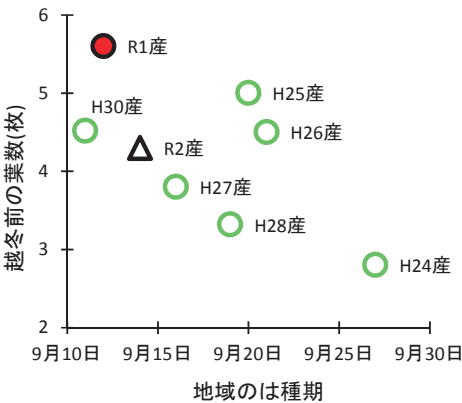


図2 は種期と越冬前葉数の関係

（4）作柄に影響を及ぼした要因（図2）
登熟期間中の気温は低く、日照時間は長いほど、千粒重（粒大）は大きくなります。本年の期間中の気温は平年並で、日照時間はやや短くなり、千粒重は平年並となりました。
多収となった要因として、穂数と歩留の高さが指摘されます。平成30年の秋は、順調な種作業と温暖な天候に生育が進み、翌年の丈夫な穂となる「頑健茎」を多く確保することができました。収量に貢献する充実した穂を多くのほ場で確保できたこと、春以降の適正な管理で、収量構成要素に損耗がなかったことが、令和元年の多収につながったものと考えられます。

表5 令和2年産秋まき小麦のは種・出芽期・は種後の積算気温

項目	は種作業・出芽期				は種後の積算平均気温(℃)		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	9月5日は種	9月15日は種	9月25日は種
R 2	9月6日	9月14日	9月28日	9月26日	721	535	400
平年	9月11日	9月18日	9月26日	9月28日	670	509	371
遅速・比	早5日	早4日	遅2日	早2日	108%	106%	108%

※は種作業・出芽期は、きたほなみ・ゆめちからの両方を対象とした

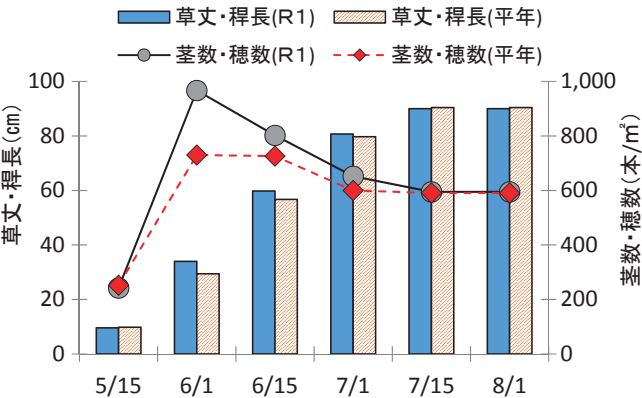


図3 令和元年産 春まき小麦の生育経過

2 春まき小麦（春よ恋）
（1）生育経過（表6・7、図3）
融雪後の作業は順調に進み、は種期は平年より3日早くまりました。は種後の降雨もあり出芽は良好でした。
出芽以降、気象条件に恵まれたことから、止葉期は平年より4日早くまりました。生育も旺盛に経過し、6月1日の茎数は967本/m²と平年比132%でした。
出穂期に最低気温5℃前後となる日が続きましたが、登熟日数は43日と平年並の登熟期間を確保しました。
登熟後半の7月下旬の気温は高く、少雨の影響もあって、急速に枯れ上がるようなほ場も見受けられました。
収穫始は平年より2日早く、高温乾燥した気象条件で収穫作業は進み、収穫終は平年より5日早くまりました。

た。葉枯症状の発生は問題となりませんでした。

（2）病害虫の発生状況

6月初旬より「うどんこ病」の発生が見られましたが、その後の薬剤散布が病勢の進展を抑えました。出穂前後に冷涼湿潤な条件となりましたが、赤かび病や

表6 春まき小麦の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節				農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	止葉期	出穂期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
R 1	4月19日	4月23日	4月30日	5月5日	6月8日	6月19日	8月1日	8月3日	8月5日	8月7日
平年	4月21日	4月26日	5月2日	5月7日	6月12日	6月22日	8月4日	8月5日	8月8日	8月12日
遅速	早2日	早3日	早2日	早2日	早4日	早3日	早3日	早2日	早3日	早5日

表7 生育期節間の気象経過（アメダス美瑛）

項目	積算平均気温(℃)			積算降水量(mm)			積算日照時間(hr)		
	出芽期～止葉期	止葉期～出穂期	出穂期～成熟期	出芽期～止葉期	止葉期～出穂期	出穂期～成熟期	出芽期～止葉期	止葉期～出穂期	出穂期～成熟期
R 1	506	178	874	77	18	60	260	62	221
平年	411	184	817	72	23	130	210	69	240
平年比(%)	123	97	107	107	80	46	124	90	92

（3）作況ほにおける収量構成要素（表7）

穂数、1穂粒数は平年並でしたが、千粒重は平年より重かったことから、子実重は平年をやや上回りました。子実蛋白は、平年を下回ったものの、パン用・中華めん用の品質評価基準値に収まりました。

3 小豆（しゅまり）

（1）生育の経過（表9、図4）

は種作業は、概ね平年並に始まり、好天が続いたことから、は種期・は種終は平年より5日早くなりました。

出芽は良好でした。7月は少雨・乾燥で経過したことから、草丈が伸びず開花期ごろの草丈は平年よりやや短くなりました。

開花期は平年より3日早まりましたが、

（4）作柄に影響を及ぼした要因（表8）

秋まき小麦同様、登熟期間中の気温は低く、日照時間の多いことが子実充実、多収の条件となります。令和元年の登熟期間中の気温は平年よりやや高く、日照時間はやや短くなりました。加えて少雨乾燥により枯れ上がり、正常な登熟が妨げられた場合も観察されました。

収量が平年をやや上回った理由としては、登熟期間中の気象条件に恵まれなものの、出芽は揃い、その後の順調な生育が充実した穂につながったことで、歩留高く、細麦の少ない結果になったと考えられます。

表8 春まき小麦の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m ² 当り穂数(本)	1穂粒数(粒/穂)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)	歩留※(%)	蛋白含有率(%)
R 1	595	22.2	41.3	545	92	12.7
平年	602	22.5	40.3	535	86	13.8
平年比(%)	99	99	102	102	107	-1.1pt

※1穂粒数・千粒重2.3mm網上

乾燥の進んだ7月下旬から8月上旬にかけて、開花の途切れる時期が見られ、英数は平年を下回りました。

品質は平年並ですが、収量は平年を上回り、地域全体としての作柄は良好でした。普及センター調査では、m²当たりの英数は少ない（平年比84%）ものの、百粒重が重かった（平年比123%）ことから、子実重は平年をやや上回りました（平年比103%）。

目立った病害虫の発生はありませんでしたが、マキバカスミカメの吸汁被害が一部にみられました。

表9 小豆の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節			農作業期			生育期間	
	は種始	は種期	は種終	出芽期	開花期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終	出芽期～開花期	開花期～成熟期
R 1	5月17日	5月20日	5月28日	6月6日	7月22日	9月14日	9月25日	10月7日	10月22日	46	54
平年	5月18日	5月25日	6月2日	6月8日	7月25日	9月9日	9月18日	10月4日	10月21日	47	46
遅速	早1日	早5日	早5日	早2日	早3日	遅5日	遅7日	遅3日	遅1日	短1日	長8日

(2) 作柄に影響を及ぼした要因
(表10・11、図5)

莢数は平年を下回りました。開花期以降、作物体のなかでは、連続する開花と子実の肥大が同時に進行することから、多くの栄養と水分を必要とします。開花期から2週間、さらにその2週間の気象条件をみると、前者の平均気温は高く、降水量は平年を大幅に下回り、強い乾燥状態となりました。

極度の乾燥条件で養分と水分の吸収が追いつかず落花、落莢を招いたと考えられます。一時的な極度の乾燥が着莢数の減少につながったものと推測されます。

登熟日数（開花期～成熟期）が長いと、粒重は重くなる傾向にあります。令和元年の登熟日数は平年より8日長く、百粒重の増加につながりました。

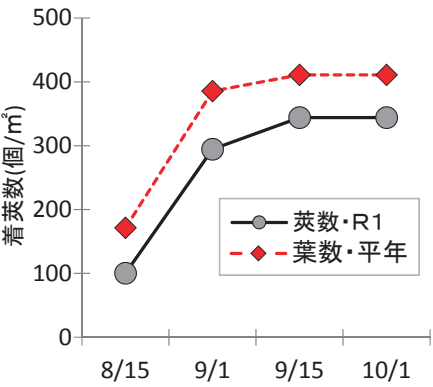
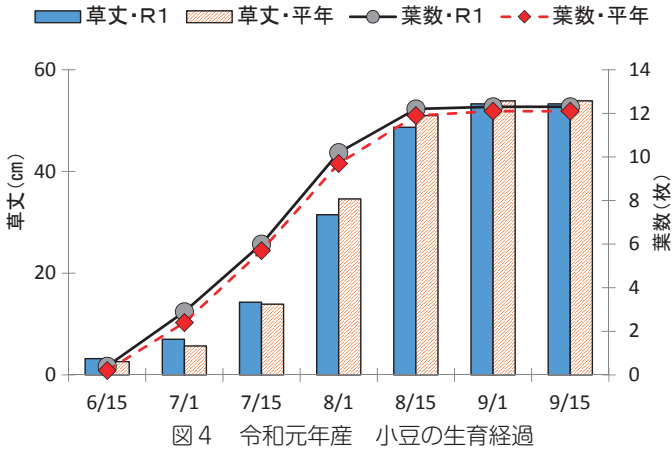


表10 開花期以降の気温、降水量、日照時間

項目	開花期後2週間			さらにその後の2週間		
	平均気温	降水量	日照時間	平均気温	降水量	日照時間
R 1	23.7	22.5	68.4	20.7	100.5	68.5
平年	20.8	57.1	73.3	20.2	62.7	73.6
平年差比	+2.9	39%	93%	+0.5	160%	93%

表11 小豆の収量構成要素（普及センター作況調査）

項目	m当莢数(個)	一莢内粒数(粒/莢)	百粒重(g)	子実重(kg/10a)
R 1	344	5.9	14.3	279
平年	411	6.2	11.6	270
平年比(%)	84	95	123	103

図5 令和元年産 小豆着莢数の推移

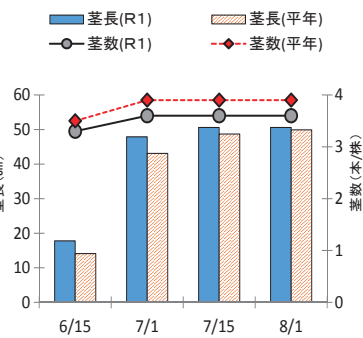


図6 令和元年産 ばれいしょの生育経過（男爵薯）

4 ばれいしょ（男爵薯）
(1) 生育の経過と病害の発生状況
(表12・13、図6)

植付は平年より2日早く始まりました。その後の降雨により作業は中断し、植付終は2日遅れとなりました。収穫作業は、降雨の合間を縫って進み、概ね平年並に終了しました。

6月上中旬の気温は高く、適度な降雨もあつたことから生育は進み、着蕾期、開花期は平年より早くなりました。男爵薯のような早生品種は、7月の乾燥による水分ストレス、養分吸収不足から茎葉黄変が早まりました。

開花期～茎葉黄変期の気温は平年に比べて高く、十分な塊茎肥大期間を確保できなかつたと考えられました。

萌芽後の気象条件から予測した疫病初発は6月下旬でしたが、長期間にわたる少雨・乾燥条件で病勢が抑えられました。

表13 ばれいしょ疫病初発予測 (FLABS)

年次	萌芽日	危険到達日
H27	5/27	7/1
H28	5/27	6/16
H29	5/27	6/21
H30	5/26	6/25
R 1	5/29	6/22

疫病の初発予測は危険到達日から概ね2週間後

表12 農作業期（全品種対象）と生育期節（男爵薯）

	農作業期			生育期節					農作業期		
	植付始	植付期	植付終	萌芽期	着蕾期	開花期	終花期	茎葉黄変期	収穫始	収穫期	収穫終
R 1	4月29日	5月13日	5月20日	5月29日	6月13日	6月27日	7月12日	8月2日	8月26日	9月14日	10月6日
平年	5月1日	5月10日	5月18日	5月30日	6月15日	6月30日	7月14日	8月8日	8月25日	9月15日	10月8日
遅速	早2日	遅3日	遅2日	早1日	早2日	早3日	早2日	早6日	遅1日	早1日	早2日

（3）**作柄に影響を及ぼした要因（表15）**
株当たり上いも数は平年並となりまし
たが、塊茎肥大期は日照不足と乾燥条件
だったことから、塊茎肥大の停滞と肥大
期間の短縮を招き、結果として上いも重
と上いも収量の低下をもたらしました。
保水性や透水性の劣るほ場で茎葉の早
期枯れ上がりが見られたことから、土壌

表14 収量構成要素（男爵薯・普及センター作況調査）

項目	茎数 (本/株)	株当上いも数 (個/株)	上いも1個重 (g/個)	上いも収量 (kg/10a)	規格内収量 (kg/10a)	規格内率 (%)
R 1	3.6	9.2	85	3,807	3,635	95
平年	3.9	9.2	88	4,020	3,772	94
平年比(%)	92	100	97	95	96	101

（2）**作況における収量構成要素（表14）**
茎数は平年より少ないものの、上いも
数は平年並でした。上いも1個重は平年
より軽く、上いも収量、規格内収量は平
年を下回りました。

5 **てんさい**
（1）**作業、生育経過（表16、図7）**
は種作業は、平年より早く始まりまし
た。移植始は平年より1日早かったもの
の、5月2日に36mm、7日に17mmの降雨
があり、ほ場の乾燥を待ったため、移植
終は平年並となりました。
5月中下旬は気温、日照時間に恵まれ
たことから、直播の出芽や移植苗の活着
は良好でした。粘土質土壌や土壌水分が

表15 生育期間と塊茎肥大期の気象条件（アメダス美瑛）

項目	生育日数			塊茎肥大期の気象条件		
	ストロン伸長期 (萌芽～着蕾)	塊茎形成期 (着蕾～開花)	塊茎肥大期 (開花～茎葉黄変)	積算 平均気温 (℃)	積算 降水量 (mm)	積算 日照時間 (hr)
R 1	15	14	36	758	39	164
平年	16	15	39	779	140	210
平年差比	-1	-1	-3	97%	28%	78%

物理性の改善による土壌環境の適正化が
安定した収量確保に重要と考えられます。

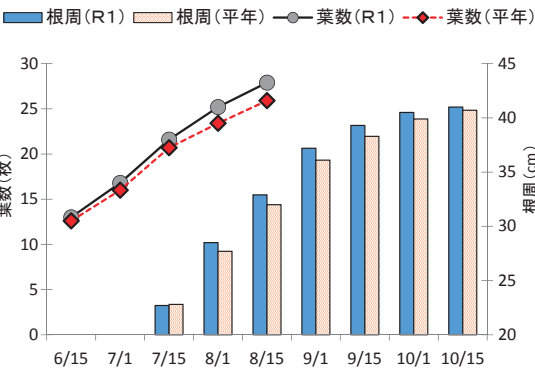


図7 令和元年産 てんさいの生育経過

高いまま耕起作業したほ場では、砕土が
粗く移植苗の活着に時間がかかりました。
6月は適度な降雨があり、移植・直播
ともに初期生育は良好でした。7月の平
均気温は平年より高く（平年比+1.5
℃）、日照時間は平年より短くなりました
（平年比87%）。加えて少雨・乾燥し
た気象条件となったことから、7月後半
には水分ストレスから茎葉の萎れるてん
さいほ場が見られました。
8月以降、気温は周期的に変化しまし
た。日照時間は平年より長く、降水量は
平年並〜多くなりました。一時的に乾燥
する時期はありましたが、地域に広く湿
害や生育障害が生ずることもなく、生育
期間を通じて気象条件に恵まれ、茎葉の
生育、根部肥大は進み、葉数・根周は平
年を上回って経過しました。
収穫始は平年より4日早まりました。
作業期間中、日降水量が20mmを上回る日
もありましたが、作業は順調に進み、平
年より5日早く収穫終を迎えました。

表16 てんさい農作業期

	は 種			移 植			収 穫		
	始	期	終	始	期	終	始	期	終
R 1	3月9日	3月14日	3月20日	5月1日	5月6日	5月16日	10月7日	10月17日	10月24日
平年	3月11日	3月15日	3月22日	5月2日	5月8日	5月16日	10月11日	10月21日	10月29日
遅速	早2日	早1日	早2日	早1日	早2日	±0	早4日	早4日	早5日

表17 てんさいの収量状況（普及センター作況調査）

年次	根重 (kg/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)
R 1	7,873	16.3	1,283
平年	7,233	16.4	1,186
平年比	109	99	108

(2) 病害虫の発生状況
褐斑病や根腐病、ヨトウガなど主要な病害虫の発生が少ない年となりました。アブラムシが媒介するウイルス病「黄化病」（西部硫黄病から名称変更）の発生もわずかでした。

病害抵抗性に優れる品種への切り替え、適正な薬剤散布の実施が、少発生の理由と考えられました。

他方、7月は乾燥・高温だったことから、ハダニの密度が高まり、吸汁による葉身の黄化が一部に見られました。

(3) 収量・糖分（表17）
糖分は平年よりわずかに低く、根重は平年より重かったことから、10a当たり糖量は1,283kg（平年比109%）となりました。

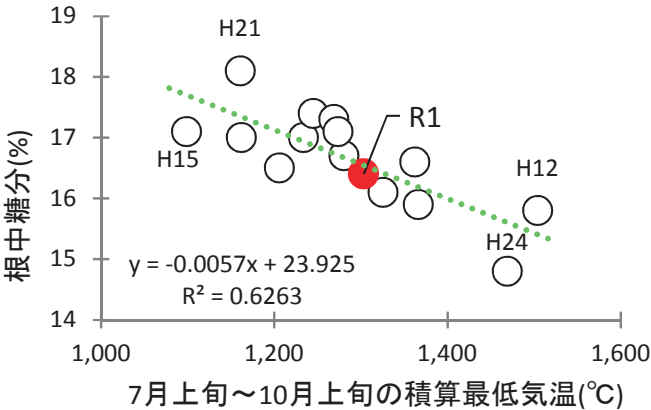


図8 積算最低気温と根中糖分の関係

(4) 作柄に影響を及ぼした要因（図8）
気象条件に恵まれ、湿害による収穫株数の減少や病害虫による被害がなく、根部肥大も順調だったことから、高い収量水準となりました。

根中糖分はほぼ平年よりわずかに低くなりました。夏の最低気温（夜温）が高いと、てんさいの呼吸による消費で、根中糖分は低下することが知られています。本年の7月上旬から10月上旬の積算最低気温は1,303℃（過去20年平均1,290℃）とほぼ平年並でした。7月の乾燥後のまとまった降雨が新葉の発生をもたらし、糖分の蓄積に影響したことが考えられます。

野菜

昨年は、融雪が平年よりも3日遅くなりました。4月中旬から好天に恵まれ、露地・施設野菜は、は種や移植作業が順調に進みました。4～6月と日照時間が確保され、トマトでは平年の6月は低温・日照不足の影響から灰色かび病が多かったのに対し、令和元年は少なくなりました。6月下旬から7月下旬にかけて、降水量が少なく、たまねぎでは球肥大の抑制につながりました。また、露地・施設野菜全般にハダニの発生が多く見られました。7月中旬から8月上旬までの高温、強日射、少雨等により各野菜で茎葉の萎れ、トマトでは花落ちによる着果数の減少、ブロッコリーではブラウンビーズの発生が見られました。8月は突発的な雨により、降水量が多い時期があったものの、ほとんど降雨が無い過も見られました。9月以降も好天に恵まれ、収穫作業は順調に進みました。

1 果菜類 (1) トマト

① 促成・半促成作型

4月中旬から6月下旬までの好天により着果・肥大は順調で、共選は5月15日の開始となりました。4月中旬から気温が高く推移したことで果実の肥大が急速に進みました。4月下旬・5月中旬は少雨となり、定植後にかん水を控えたほ場では、土壌水分が不足し、5月中旬以降で尻腐れ果が低段位に見られました。平年の6月は低温・日照不足による灰色かび病の多発生に悩まされたものの、好天

に恵まれたことから発生量は少なく、生育の促進に繋がりました。7月中旬から8月上旬までの30度を超える高温、強日射、少雨等により、花落ちや軟果玉の発生による着果数の減少、茎葉の萎れが見られました。

② 抑制作型

5月21日以降の定植となる抑制作型は、5月中旬から6月中旬で好天が続いたことで、土壌水分が少ない状況となり、定植後のかん水を控えたほ場では、土壌水分が不足し、6月下旬以降で尻腐れ果が低段位に見られました。

促成・半促成作型と同様、7月中旬から8月上旬の高温、強日射、少雨等により、花落ちや軟果玉の発生による着果数の減少や茎葉の萎れが見られました。促成や半促成も含め、令和元年度の出荷量は前年対比約121%となりました。

③ 病害虫

病害は、8月中旬以降から低温と曇天日に灰色かび病の発生が多く見られました。害虫は、アザミウマ類の発生が平成30年と同様に6～7月に多く見られ、白ぶくれ症状の果実が見られました。

(2) スイートコーン（生食用）

は種作業は平年より早く（5月中旬）行われました。出芽は順調で、6月の好天により、生育の促進が見られました。7月は少雨で好天が続いたことにより、収穫時期に一部のほ場で過熟気味となり、実の割れが見られました。

収穫は平年並の8月上旬から始まり、ピークは8月中旬と平年並となりました。

今年の雌穂は、太実でポリウムが平年と比べ優りました。

(3) さやいんげん

は種時期は前年並の5月20日頃から始まりました。

出芽後の初期生育は、6月の好天により、草丈の生育が促進されました。開花時期が7月上旬で収穫時期は平年より早く7月26日頃から始まりました。害虫は、タネバエの被害は見られませんでした。

2 葉茎菜類

(1) ゆりね

4月下旬からの好天により初期生育は順調に経過しました。6月の好天後、7月の少雨で草丈は平年より短く、生育が緩慢なほ場が見られました。その後、7月中旬から8月上旬は高温で経過しましたが、8月上旬の降雨もあつたことで生育が進み、平成30年よりりん茎肥大の傾向となりました。

葉先枯れが一部で見られ、あんこ症は少雨による水分不足で土壌中のカルシウムやホウ素を吸収できなかつたことにより、例年より多く発生しました。葉枯病はあまり見られませんでした。

(2) たまねぎ

融雪が平年より遅かつたものの、その後の好天により直播と移植は早いほ場で4月下旬から作業が進められました。直播は比較的順調に出芽しました。生育は6月の好天により促進されたものの、7月の少雨により、一部のほ場では球肥大の抑制が見られました。その後、倒伏状況を確認しながらの根切り作業となりました。

した。収穫時期は、移植で9月上旬から、直播は9月下旬からとなりました。

好天に恵まれた年であつたことから軟腐病、乾腐病の発生は少なく、収量は平成30年と比べて多くなりました。害虫は、一部でネギハモグリバエの被害が見られました。

3 洋菜類

(1) グリーンアスパラガス

融雪後、4月下旬～5月の好天にも恵まれ、収穫は5月中旬から始まりました。6月上旬までは収穫量が平成30年より減少したものの、5月中旬から下旬の少雨によつて土壌水分が不足したことも影響し、平年よりも収穫量は低下しました。また、収穫終盤の6月中旬は平年、低温によるアントシアンの発生が見られたものの、令和元年は一部のほ場しか見られませんでした。収穫は6月下旬まで行われ、前年より収穫量が減少したものの、平年より減少しました。

病害虫は、収穫期間中、ジユウシホシクビナガハムシの被害が散見され、9月頃にはヨトウガの被害がやや多くなりました。斑点病の発生は平年並みでした。

(2) ブロッコリー

融雪が遅れたものの、4月下旬～5月の好天により、ほ場条件が良好だった点、また、セル苗の生育が良好だったため、定植時期は例年より早い時期から始まりました。

6月は好天に恵まれ、生育の促進に繋がりました。7月中旬以降の高温、強日射により花蕾肥大期にブラウンビーズの発生が散見されました。病害虫は、好天

に恵まれたことで花蕾腐敗病や軟腐病の発生は少なく、気温が高い傾向にあつたことからヨトウムシ、コナガの発生は、例年より多くなりました。

飼料作物

1 飼料用とうもろこし

(1) 生育経過と作柄の概要

4月中旬以降の天候に恵まれ、は種作業は順調に行われました。その後、生育期間を通して気温は高く生育は順調で、草丈はやや長くなりました。糊熟期・黄熟期は平年よりやや早く、収穫作業時期は平年並でした。

(2) 収量の概況

6月の好天や7月の気温が高く推移し、少雨の影響により一部で子実が小さいものが見られましたが、地域全体として収量は平年並でした。給与に際しては、飼料分析を行い、適切な飼料設計につながっていただきたいと思います。

2 牧草

(1) 1番草の生育と収穫作業の概要

萌芽期は平年並で、それ以降の気温が高めに推移したため、生育も順調でした。6月上旬以降に一時的な降雨はありましたが、作業時期は例年並でした。

(2) 2番草の生育と収穫作業の概要

2番草の生育は、やや早く推移しましたが、作業時期は例年並でした。

(3) 1番草・2番草の収量の概況

令和元年の4月～5月は、気温が高く推移し、小雨傾向でありましたが、1番草の収量は平年並でした。2番草の収量は平年並でした。1番草・2番草ともに給与に際しては、飼料分析を行い、適切な飼料設計につなげていただきたいと思います。



本年もよろしく
お願い致します

支 所 長
小 林 孝 夫

地域第一係長
木 村 篤

地域第二係長
辻 英 敏

専門主任
吉 田 純 子

専門主任
鬼 澤 勝

専門普及指導員
細 川 篤 通

専門普及指導員
堀 田 ひとみ

普及指導員
中 野 寛 之

普及職員
藤 本 周

普及職員
京 極 竜之助

(敬称略)

年頭のごあいさつ



より良い農業生産を実現し、
「安全、安心」のイメージを

上川農業改良普及センター大雪支所

支所長 小 林 孝 夫

新年明けましておめでとうござい
ます。
皆様におかれましては、つつがな
く新しい年をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。日頃、農業改
良普及事業の推進に当たりまして、
農業者、関係機関の皆様からご支援
とご協力を賜り、心より感謝申し上
げます。
昨年の作柄につきましては、水稻、
畑作物、多くの園芸作物で平年を上
回る結果となり、新元号令和は順調
な滑り出しとなりました。雪解けは
平年よりやや遅くなりましたが、そ
の後には概ね平年を上回る気温で経過
しましたし、幸い近年続いた大きな
気象災害もありませんでした。7月、
8月は曇天日が多く、7月の降水量
は平年比36%と小雨となりましたが、
作物への大きな影響はありませんで
した。農業者皆様の作物の生育や気
象に合わせた適切な栽培管理、JA
をはじめとする関係機関の支援・情

報提供などの成果かと思えます。美
瑛農業の総合力が発揮された一年で
した。
さて、今年はいよいよ2020東
京オリンピック・パラリンピックが
開催されます。海外から多くの選手
や観光客が来日します。世はまさに
インバウンドブーム、美味しい日本
産、美瑛産農産物をPRする絶好の
チャンスです。オリンピックで調達
する農畜産物の調達基準にGAPが
あります。GAPを取得しても農作
物が美味しくはなりませんし、ブラ
ンド価値も上がらず、収益向上にす
ぐには結びつきません。しかし、
「安全・安心」な農畜産物を作って
いると自負される方も多いと思いま
すが、これを消費者に理解してもら
うことはなかなか難しいことです。
TPP11、日欧EPAに続いて、日
米貿易協定など農畜産物の輸入は増
加することが予想されます。日本の
人口減少が進む中、国内の1億人だ

けではなく、世界の75億人を見据え
た転換も必要になるかもしれません。
また、安全・安心な農畜産物をつ
くっている農場自体が、そこで働い
ている人にとって「安全・安心」な
農場かと問われたとき、自信をもつ
てYESと答えられない方も多いの
ではないでしょうか。新たに農業を
始めたいと思った人に、農業に対し
て安全・安心な職場だというイメー
ジはあるでしょうか。農村部は都市
に先んじて人口減少・高齢化が進行
しています。安全で快適な作業環境
を整えることは、高齢になっても住
み慣れた土地で働き続けることがで
きるだけでなく、外部からの人材獲
得にもつながります。農業従事者が
守るべき規範と実践を証明するGAP
は、より良い農業生産を実現する
手法の一つとなると思います。
JAびえい管内の農業は、水稻、
小麦や馬鈴しょ等の畑作物、トマト
に代表される園芸作物、そして全国、
全世界に発信できるブランド力があ
ります。今後とも、地域の持つ力を
大いに発揮して、北海道農業を代表
する産地として発展されますことを
御祈念申し上げます。普及センター
におきまして、変革する農業情勢
を的確に捉えて、農業者の皆様及び
関係機関の方々と一体となり尽力し
てまいります。
結びとなりますが、本年が皆様にと
つてよりよい年となりますように、
心よりご祈念申し上げます。新年の
ご挨拶いたします。

JAグループ通信

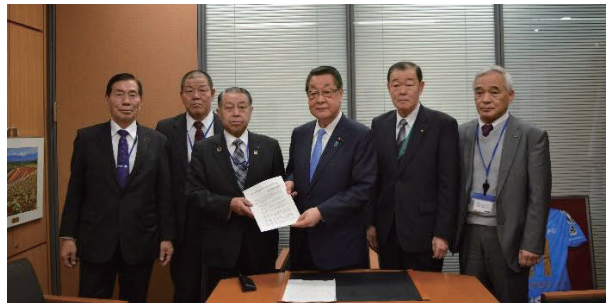
JA北海道中央会



JA グループ北海道は、日米貿易協定の発効を目前に控えた状況下で、総合的な TPP 等関連政策大綱などの見直し、経営所得安定対策の単価改定、加工原料乳補給金単価の設定など、農業の担い手が意欲と希望を持って一層の農業経営の体質強化に向かえるよう、政府・与党等に対し働きかけを行ってまいりました。

結果として、農業関係補正予算、当初予算とも前年を上回る額が措置されることに加え、農業生産基盤の強化や家族経営への支援などが盛り込まれるなど、北海道の農家・組合員の営農継続に一定の道筋をつけられました。

今後も北海道の農家・組合員が国際競争や災害に負けない力強い農業・農村の構築と所得向上の実現を図り、持続可能な北海道農業の確立に向けて取り組んでまいります。



※吉川前農林水産大臣に要請書を手渡す JA グループ北海道要請団

JA北海道信連



JA 北海道大会の将来ビジョンの実現に向けて、JA グループ北海道農業経営フォーラムを札幌市内で 11 月に開催しました。今回のフォーラムでは、「農業経営に地域の魅力をいかす」をテーマに、宮城県で主に水稲と養豚を営む有限会社伊豆沼農産の伊藤社長より農村自体を産業化する取り組みについて、商品ジャーナリスト北村森氏より道内農畜産物の魅力を伝える秘策について講演がありました。



JA共済連北海道



JA 共済連北海道は、11 月 8 日より「JA 共済 有村架純&浜辺美波の限定 LINE スタンプ」のダウンロードを開始しています。JA 共済限定 LINE スタンプの提供は、JA 共済へ興味・関心をもっていただき、資料請求者をより一層拡大していくことを目的としております。有村架純&浜辺美波の限定 LINE スタンプのダウンロードについては、QR コードを読み込み、アンケートに回答いただきますとダウンロードする事ができます。



ホクレン



ホクレンは、コーポレートメッセージ「つくる人を幸せに、食べる人を笑顔に」を広く発信し、北海道農業とホクレンの事業をわかりやすく伝えるためにアニメーション動画を制作し、12 月 19 日から YouTube 上で公開を開始しました。動画の主題歌には槇原敬之さん、主人公役の声優には「なつぞら」の番長役の板橋駿谷さんを起用し、WEB 媒体を活用して道内生産者・JA および全国の消費者・取引先へ広く発信していきます。



JA北海道厚生連



令和元年 11 月 30 日（土）遠軽厚生病院にて遠軽町・湧別町・佐呂間町の中学生を対象に医療技術体験セミナーを開催しました。

当日は、46 名の参加がありました。薬剤師や検査技師などの仕事を知り、進路選びの参考にしてもらう狙いで、毎年実施しています。

今後も継続して実施していきたいと思えます。



JA グループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



新年のご挨拶

農業生産を支える組織活動

次世代を担う 農業者をめざして

青年部 部長

浦島 正貴



新年あけましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては、健
やかに新年をお迎えのこととお慶び申
し上げます。また、常日頃より青年
部活動に對しまして多大なるご理解、
ご支援、ご協力を頂いておりますこ
とを、心より感謝申し上げます。

昨年の青年部活動を振り返ります
と、美瑛町内小学生との食育事業、
春期、夏期、冬期の研修会、視察研
修、フレッシュミセス会との合同事
業であるミニバレー大会、組織活動
交流会、どかんと農業まつりやかみ
かわ農業祭など様々な学びや交流の
場がありました。これらの活動を通

して感じたことは、農業経営をして
いく上で、私たちはさまざまな人や
モノに支えられており、より良い経
営を行っていくにはそれらに支えら
れているという現状を知り、自らの
経営に活かしていくことが必要だと
思いました。

農業経営は栽培技術など自己の努
力で解決できる内的要因と、消費需
要や経済状況など自己の努力だけで
は解決できない外的要因との二面性
を兼ね備えていて、特に、外的要因
に立ち向かうためには、自らによる
情報の収集理解が不可欠であり、経
営者に必要な知識を習得した上で、

共通の課題に對して議論を行い、解
決していくことが大事だと思います。
今後、次世代を担う農業者となる
べく、各種事業・研修を通じて、知
識や技術の習得、部員個々の意識の
向上を図り、地域農業の振興と魅力
ある青年部活動をめざしていきたい
と考えております。

最後に、本年も変わらぬご支援、
ご指導をお願い申し上げますと
もに、皆様の今年1年のご健康とご多
幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせて
いただきます。本年もどうぞよろし
くお願いいたします。

生産者だからできる コミュニケーション の支援を

女性部 部長

山本 京子



新年あけましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては、健
やかに新しい年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年は春先の融雪こそ概ね順調で
したが、その後の低温では農作物の
成長に影響が出るのではないかと非
常に心配させられました。しかし、
10月以降の収穫期は天候に恵まれ、
例年より遅い初雪にも助けられ、無
事に作業を終えられたのではないで
しょうか。

女性部は昨年の定期総会にて大々
的な機構改革を行い、サークル活動
が取り入れられ、個々の興味に合わ
せて参加する活動を選択できるよう
になりました。役員一同、また、事
務局も手探りで運営となつてしま

いましたが、これまでの活動を無事
に終えられたのも、ひとえに部員の
皆さまのご協力と、部員の皆さまを
活動へと送り出してくださるご家族
の皆さまのご理解の賜物と深く感じ
ております。この場をお借りいたし
まして、厚くお礼を申し上げます。

最近、子どもたちへの虐待という
大変痛ましいニュースをよく見かけ
ます。虐待の動機は、子育てが思い
通りにいかない、仕事が忙しくてイ
ライラする、自分の時間が取れない
など様々です。これらの原因は、現
代人の心の貧困、それを生み出す食
の貧困であるように私には感じられ
ます。

現代人のライフスタイルの変化に
合わせて、食事を一人で食べる「孤

食」や、家族でバラバラなものを食
べる「個食」など、食の貧困問題を、
よく耳にするようになりました。そ
れによつて、食事を通してのコミュ
ニケーションが減ってしまい、心の
貧困が生まれてくるのではないかと
思います。

私たちに必要なのは、家族とそ
の日あつた何気ないことを話しながら
囲む食卓。同じものを食べて、「お
いしいね」と同じ感動を分かち合う
瞬間。そしてその時に「いただきま
す」「ごちそうさま」「ありがと
う」という、自分の食卓においてい
食べ物が並ぶことへの感謝を忘れない
ことではないでしょうか。食を通
じたこれら一つひとつの積み重ねが、
食の貧困をなくし、心の貧困の脱却

2019 フォト スケッチ



組織活動交流会



青年部春期研修会



女性部町外研修



小学生食育調理実習

多彩な活動と 交流に感謝

フレッシュミセス会会長

松村 亜美



新年あけましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては、健
やかに新年をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。また、日頃よ
りフレッシュミセス会の活動に對し
まして、多大なるご理解、ご支援、
ご協力をいただいております、役員、
会員、事務局の皆さまに心より感謝
申し上げます。

昨年は、夏の干ばつや秋の長雨な
ど、数々の異常気象に見舞われまし
た。そのほか、全国各地では、記録
的な強風、大雨をもたらした台風19
号により、甚大な被害がもたらされ
ました。被害に遭われた皆さまに、
心よりお見舞い申し上げます。

フレッシュミセス会活動といたし
ましては、各種研修会を通して、作
品を作る楽しさや知識を得ることが
でき、様々なものに興味を持つこと
かけがえ多くありました。

また、青年部との合同事業である
ミニバレー大会と交流会では、楽し
い時間を過ごし、様々な情報交換が
できました。

食育事業では、青年部の方々と町
内の小学生を対象に田植え体験を行
い、女性部の方々と米粉のシチュー
やピザ作りを行いました。子どもた
ちが協力して作業を行い、美瑛産の
野菜をトッピングして嬉しそうに姿
を見て、作物や食の大切さを感じて
もらえればと思いつながら、とても貴
重な時間を過ごしました。

子どもたちに食の大切さを感じて
ほしいのはもちろん、私自身、農業
を経験することで、生きていくこと
について新しい発見があります。天
候に左右されながら多くの試練を乗
り越えて収穫を行うことで、命の大
切さに気付くとともに、日々、農業
のすばらしさを体験しています。私

ききたいと強く感じています。

本年が、皆様にとって実り多い年
となりますようご祈念申し上げます。

にとつて農業は、食料を提供するこ
とで人々の生活を支え、これからも
人々にとつて欠かせない仕事であり、
より多くの人々に関心を持ってもら
いたい、そんな仕事です。

フレッシュミセス会は、少しずつ
会員数も減少しつつあります。その
ような逆境の中でも、活動をしてい
く上で他の地区の方々と交流ができ
ること、様々な活動を行えたことに
フレッシュミセス会活動に関わる多
くの方々への感謝の気持ちを感じて
います。

今後のフレッシュミセス会活動に
つきましても、役員任期は残り僅か
ではありますが、今までと変わらず、
ご支援・ご協力を賜りますよう、よ
ろしくお願い申し上げます。

本年が、皆さまにとつて素晴らしい
年となりますよう心よりご祈念申
し上げます。

につながっていくのではないかと思
います。

私たちは、人の命の原点を作っ
ている生産者です。私たちが作って

る安全安心でおいしい食べ物が、こ
ういった悲しいニュースを減らして
いく糸口になることを信じて、これ
からもできる限りの努力を続けてい

足腰の強い農業を 作るために 集落代表者 研修会が開催

これからの農業振興に向けて各集落代表が集まって開催される、第46回集落代表者研修会が、12月6日、JA大ホールにて行われました。

当日は酪農学園大学循環農学類協同組合学研究室の糸山健介講師を招き、「これまでの協同組合これからの協同組合」と題した講演が行われ、参加した集落会長の皆さんは関心を示すように深くうなずいていました。

講演を聞く集落代表者の皆さん

三宮尊徳偉業の 足跡をたどる 報徳社小田原 研修旅行が開催

美瑛町報徳社の60周年を記念して、二宮尊徳の足跡をたどり、報徳精神の尊さを再認識するための小田原研修旅行が、12月2日～4日に渡って開催されました。

研修に参加したのは、佐渡副社長をはじめとする19名の社員の皆さんで、二宮尊徳ゆかりの地である小田原を中心に、神奈川県各地を巡りました。

報徳博物館の見学

1年の 締めくくりを 報徳社員 交流会が開催

美瑛町報徳社の1年の活動を締めくくると社員交流会が、12月17日、JA3階大ホールにて行われました。

当日は46名の部員が出席し、浦島規生報徳社長は、乾杯の挨拶で「今年は作物の出来が良い年だった」と1年を振り返りました。また、社員交流会に先立って行われた60周年記念事業の小田原研修についての報告もなされました。

研修のお土産として、報徳神社のお神酒が振舞われ、参加できなかった社員の皆さんも小田原の空気を味わっていました。

小田原研修の内容を聞く社員の皆さん

美瑛のお米を 使った新商品登場！ びえいの丘めし 「おにぎり」新発売

「びえいの丘めし」シリーズに新しい仲間「おにぎり」が登場しました！

お湯かお水を注いでよく振り、あとは待つだけで、ふっくらしたおにぎりができあがります。

味は鮭とわかめの2種類で、どちらも絶妙な塩加減が食欲を引き立ててくれます。調理の手間がなく、賞味期限も5年と長いので、災害時の非常食にもぴったりです！

「びえいの丘めしおにぎり」は鮭・わかめ各1個280円（税抜）で、美瑛選果本店、新千歳空港店、東京有楽町店にて好評発売中です。



自身の経験の発表が高評価 本山忠寛さん(美沢早崎)が 北海道JA青年の主張大会で最優秀賞



賞状を手にした本山さん

JA青年が農業やJA、JA青年部に対する将来への希望や意見、提言を発表し今後の組織活動活発化に向けてのエネルギーとすることを目的とした「JA青年の主張大会」が、12月5日、札幌市で開催された第68回全道JA青年部大会内にて行われました。当JAからは美沢早崎の本山忠寛さんが発表を行い、見事最優秀賞を獲得しました。最優秀賞獲得の決め手となったのは、発表の中にあつた「青年部だからこそ若い力があり、青年部だからこそ農業の未来に夢を抱ける。青年部である今こそまさに立ち上がる時」という、他の青年部員に語りかけるような力強いメッセージでした。

本山さんは今後、全国大会への出場をめざして、1月に開催される東北・北海道ブロックJA青年の主張大会で発表を行います。



旅行サークル



スポーツサークル



ビューティーサークル



書道サークル



手芸サークル



パン作りサークル

春に機構改革を行ってから初めての農閑期を迎え、女性部のサークル活動が盛んに行われています。

11月から12月にかけて、旅行、スポーツ、ビューティー、手芸、書道、パン作りの各サークルが活動を行いました。

多様な活動が展開される中で、部員の皆さんは、それぞれの興味に合わせて楽しそうに活動に参加していました。

女性部サークル活動
 冬を迎えて本格化



明日を担う

美瑛町美沢共立

ますやま たかあき

増山 嵩明 さん（33歳）

青年部副部長

今回登場していただいた増山さんは、美瑛生まれ美瑛育ち。農業高校を卒業後、本別町の農業大学校へ進学。その後、親元に戻って就農しました。現在は青年部の副部長として、組織活動の中核を担っています。夏場はしっかりと働いて、冬場は趣味のスノーモービルに時間を費やしています。今回は、そんな増山さんにお話を伺いました。

他の選択肢なんて、
目に入らなかつた

子どものころから農業に精を出す父の姿を見て育ち、当たり前のように「自分も将来この仕事をやるんだな」と思っていました。進路選択の時に、自分のやりたいことは決まっていたので、迷わず農業高校を選び、その後、農業大学校に進学しました。農業以外の選択肢なんて、目に入りませんでした。

面積拡大のため、
手間の省略を

現在はハウスアスパラ15a、露地アスパラ141aをはじめとして、生食・加工スイートコーン、小麦、大豆、小豆、馬鈴薯、ビート、薬草（甘草・大黃）などを作付けしています。特にアスパラは、ハウスに遮光ネットをかけて作るホワイトアスパラをはじめとして、一番力を注いでいる品目で、主力作物となっています。

ます。

令和元年度から作付面積が増えましたが、その分人手が増えているわけではありません。面積を拡大した分、どのように作業を行えば手間が省略できるかを考えるようにしています。

現在の経営は父が行っているのですが、自分で営農に関する判断をしていくのは先の話ではありますが、今から経営に対する意識は持っているようにしています。

青年部70周年を控え、 今の勢いを大切に

平成28年に青年部東瑛・美沢ブロックのブロック長に就任し、平成29年・30年には理事として各種事業に参加し、令和元年には副部長として、青年部活動により積極的に関わるようになってきました。

青年部活動は、地元の仲間たちと色々な事業を通して深く関わっているところに楽しさを感じています。小・中・高と違う学校に通っていた同級生とも、青年部活動を通して交流の機会が生まれ、今では一緒にお酒を飲みに行けるような関係にな

っています。そして、お酒の場を通してさらに広がる交流もあったりと、人とのつながりを作る上で、青年部という組織は大切な役割を果たしていると思います。

令和2年、青年部は70周年を迎えます。節目となる70周年記念事業は、皆の思い出に残る素晴らしいものになりたいと考えています。もちろん、今ある事業も、諸先輩方が様々な工夫を凝らして盛り上げてきた、大切なものばかりです。

青年部も部員の減少などの課題を抱えています。現状の形と勢いを維持したまま活動を続けていくことで、多くの交流とつながりが生まれる場所になればいいと思っています。



食育など多岐に渡る活動

冬の自由度も

農業の魅力

農業の魅力の一つは、夏場にしっかりと頑張った分、冬場に趣味の時間や休みをたっぷり取れることだと思います。

春から秋にかけて休みなしに頑張れるのも、冬に趣味のスノーモービルを心置きなく楽しむためだと思えばこそできることだと思います。

そういったメリハリのある生活を基本としつつ、仲間と積み重ねる日々を、一つひとつ大切にしていきたいと思っています。



事業を通しての仲間づくりも

新年の

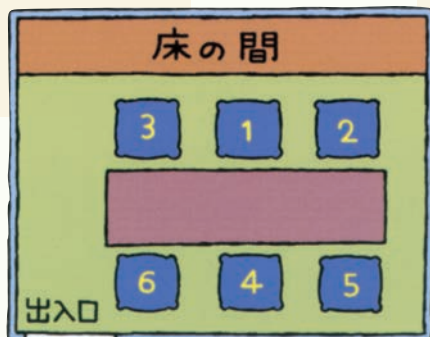
ご挨拶

新年に招かれたら、約束の時間より早く着き過ぎると相手に迷惑を掛けるので気を付けましょう。家上がる場合は、玄関に入る前にコート類を脱ぐのが正式な礼儀です。挨拶（あいさつ）だけで帰るなら着たままで。コート類を脱いでいると、家上がるにつれていくのかな、と相手に気を使わせてしまいます。靴を脱ぐときは、そのまま向きに脱いで家へ上がります。上がってから人にお尻を向けないようにしゃがんで、靴の向きを変えます。冷蔵や冷凍品のお土産はその旨を伝えて玄関先で渡し、それ以外のお土産は部屋に通されてご挨拶をするときにお渡しします。「お年賀」の熨斗（のし）紙は1月7日（地域によって15日）まで。

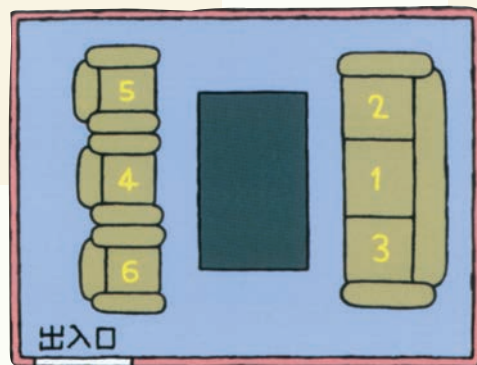


部屋の席次

和室、洋室共に入り口に近い席が下座、和室では床の間の前が上座です。洋室では奥から上座でソファ、アームチェア、スツールの順が目安です。目上の方に招かれたらお客さまの立場であっても、下座に座るのが基本です。その集まりの主役、眺



数字が小さいほど上座
(TPOに応じて変わることもあります)



めの良さ、席の広さや寒暖によっても席が決まるので臨機応変に。和室では座布団を踏まないように気を付けて、挨拶は座布団から下りてするのが礼儀。ソファや椅子に座っているときも挨拶は立ってしましょう。

お酒の作法

お正月にいただくおとそは、日本酒や本みりんにとそ散（ニツキやさんしゅうなど）を浸した物。長寿を願ひ、邪気をはらうためにいただきます。おとそは、同じ杯で年の若い順から飲んでいき、最後に年長者や厄年の人がその英気をいただく、とされています。お酒をいただく機会の多いお正月。お酌を受けるときは必ず両手で器を持ちます。注がれたら一度は口を付けてから器を置きましょう。ワイングラスだけは持ち上げずテーブルに置いたままで、手も添えません。特にワイングラスは割れやすいので、乾杯するときにグラス同士も当たらないようにしましょう。



お正月の作法

講師…滝井ひかる
イラスト…MDRデザイン事務所



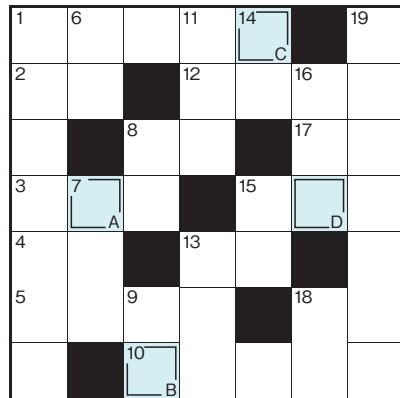
このカギ



タテのカギ

- ① 元日の寺社が混雑する理由
② 霊峰も銀峰もこれです
③ バイオリンやビオラより大きな弦楽器
④ 魚偏に里と書く魚
⑤ 破(わ)れ鍋にお似合いです
⑧ 一——二タカ三ナスビ
⑩ 擦りむいた膝やあかぎれに塗ります
⑫ 浅草寺の表参道にある——商店街
⑬ 今より前の時点
⑮ てこの——を利用して重い物を動かした
⑰ グーとパーではパーの方
⑱ 英語ではkingと言います
- ① 「生麦生米生卵」とか「東京特許許可局」とか
② 夫の配偶者です
③ 生まれたばかりの赤ん坊のこと
④ ゆっくりつかって「極楽、極楽」
⑤ 剣や弓矢、大砲などのこと
⑥ 首の後ろ側の部分
⑦ ——をのんでなりゆきを見守った
⑧ 刑事を意味する俗語
⑨ お酒は飲めない体質です
⑩ こたつに似合う果物
⑪ ㊦の記号で表すことも
⑫ だて巻き、数の子、黒豆などを重箱に詰めて用意します

クロスワードパズル



二重マスの文字をA→Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】

●ハガキ

注! ハガキは63円です

うら

- ① クイズの答え
② 今月号の良かった内容
③ 取り上げて欲しい内容
④ その他ご意見・感想など
⑤ 住所・氏名・年齢・電話番号

おもて

〒071-0298 美瑛町 中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

●FAX 0166-92-2977

●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

こたえ・当選者

☆先月号のこたえは『クリスマス』でした

1	テ	ブ	ク	ロ	ガ	ラ
2	ア	ロ	マ	セ	ス	ジ
3	ミ	ツ	ユ	キ	オ	
4	ハ	ク	ス	リ	ユ	ビ
5	ガ	マ	ネ	シ	カ	イ
6	キ	リ	モ	ス	ク	ワ

☆当選者は

高橋 利津子さん
大庭 秋子さん
角田 昭子さん
遠藤 洋子さん
舟山 初枝さん
以上5名です。
おめでとーございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見・感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

★1月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

★ ♈ ♉ ♊ ♋ ♌ ♍ ♎ ♏ ♐ ♑ ♒ ♓

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】思うようにならないことが増え、強引になりがち。謙虚さを大切に。陶芸や園芸など、土に触れると開運効果が

【健康運】体を動かせば、体調も運も上向きそう

【幸運を呼ぶ食べ物】クワイ

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】保留になっていたことが動き始める予感。直感がさえるので、ピンときたら、即やってみると好結果に

【健康運】小まめに運動することで、運氣も活性化

【幸運を呼ぶ食べ物】セリ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】周りの意見に振り回されやすいとき。自分の経験値を信じて選択を。セールでは掘り出し物をゲット

【健康運】疲労をため込む傾向が大。笑いで発散

【幸運を呼ぶ食べ物】ナガイモ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】対人関係に変化がありそう。今まで敵対視していた相手が味方になる可能性が高め。新作映画やドラマにツキ

【健康運】生活のペースを落として。ゆとりが大事

【幸運を呼ぶ食べ物】ブリ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】マイナス思考が現実化しやすい傾向あり。意識的に楽しい事を考えて。新しい習い事を始めると充実しそう

【健康運】うまく自己管理できそう。マッサージ吉

【幸運を呼ぶ食べ物】野沢菜

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】人気運が赤丸急上昇。自信を持ってリーダーシップを発揮して。また、長年の夢がかなう気配。新年会もラッキー

【健康運】消化に良い食べ物を。栄養にも配慮して

【幸運を呼ぶ食べ物】ゴボウ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】うっかり発言でトラブルを招く暗示。特にお酒の席ではご用心。丁寧に玄関の掃除をすると運氣好転の効果が

【健康運】足腰を鍛える好機。短い時間でも歩いて

【幸運を呼ぶ食べ物】ホタテ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】フットワークが軽くなる期間。興味を引かれるジャンルを見つけたら、早速試してみ。グループレジャー吉

【健康運】正月太りにご用心。カロリー計算を

【幸運を呼ぶ食べ物】こんにゃく

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】得意なことや好きなジャンルに情熱を注ぐと、それが活躍の場を引き寄せます。ずっと欲しかった物を買えそう

【健康運】スポーツを楽しめば、ストレス解消に◎

【幸運を呼ぶ食べ物】伊予かん

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】強運期。やりたいことに果敢にトライを。面接や公募などの自己アピールも好結果に。くじや懸賞も当たりそう

【健康運】良質な睡眠を目指せば、自然治癒力アップ

【幸運を呼ぶ食べ物】豆腐

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】大仕事を成そうと気張るより、地道な積み重ねが福を呼びます。現代アートは感性に良い刺激を与えてくれそう

【健康運】健康グッズに注目。を。体質に合う良品が

【幸運を呼ぶ食べ物】あんこ

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】尊敬する人の行動を参考に仕事のやり方を変えるなど、自己改革に取り組んで。同世代有名人の出演番組にツキ

【健康運】暴飲暴食は厳禁。腹七分目くらいが正解

【幸運を呼ぶ食べ物】芽キャベツ



今月の一品

「牛カルビ 焼き茶漬け」

作り方

- (1)だしの材料を鍋に合わせて入れ火にかけて沸かす。だしは注ぎ口の付いた器（急須）に入れる。
- (2)茶わんにご飯を盛り付け、昆布茶を振る。
- (3)フライパンをよく熱し、軽く塩をしたカルビをカリッと焼き上げ(2)にのせ、(1)を注ぎ、上におろしワサビ、刻みのり、小ネギをのせて出来上がり。

材料（2人分）

◆具材

牛カルビ ……50g
塩 ……少々
ご飯 ……茶わん1膳分
昆布茶 ……小さじ1/2
刻みのり ……適宜
小ネギ ……適宜
おろしワサビ ……適宜

◆だし

かつおだし ……150ml
薄口しょうゆ ……小さじ1/2
塩 ……少々

アドバイス

牛カルビはある程度脂が多いほど、だしに溶け出しうま味が増す。

Chef.Nagai's
recommended
recipe

シェフ永井の
おすすめ



永井 智一（ながいともかず）
茨城県空間市にある
「キッチン晴人（ハレジン）」
オーナーシェフ

得する!役に立つ!

家の光図書

今月の新刊



お申込みは
お問い合わせは
営農部まで

忙しい人でもおいしく作れる 京のおばんざい 四季の味

小宮理実 著

■ 本体1,600円（+税）

難しく思われがちな京都の伝統和食「おばんざい」を京都出身の料理研究家が現代風にアレンジ。どこでも家庭でも手に入る食材で手軽に作れるレシピをひと月ごとに紹介。初めてでもおいしく作れるおせちも掲載!



がんばらない料理

続けられるから、からだもうれしい。

たなかれいこ 著

■ 本体1,500円（+税）

「食べ物で美しく健康に」を提唱する著者が、素材や調理道具の使い方、野菜の旨みを引き出すレシピ、簡単な調理法などを解説。この1冊で、がんばらなくても自然と体がよるこぶ料理が作れるようになる!



甘すぎないから、毎日たべたくなる 菓子屋シノノメの焼き菓子

毛宣恵 著

■ 本体1,600円（+税）

東京・蔵前で人気の焼き菓子店初のレシピ集。バターの練り具合や粉を入れるタイミングなど、細かいポイント写真と文章で丁寧に解説。家庭でもお店の味を再現できる!見た目もかわいいので贈り物にも最適。



野菜ソムリエ上級プロ

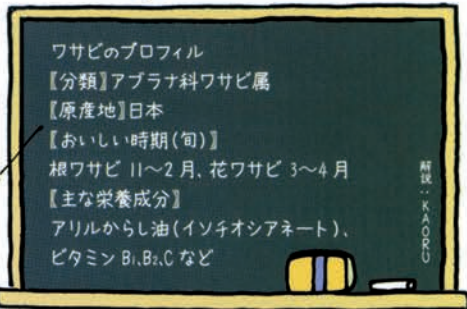
KAORUの

ベジタブル ライフ

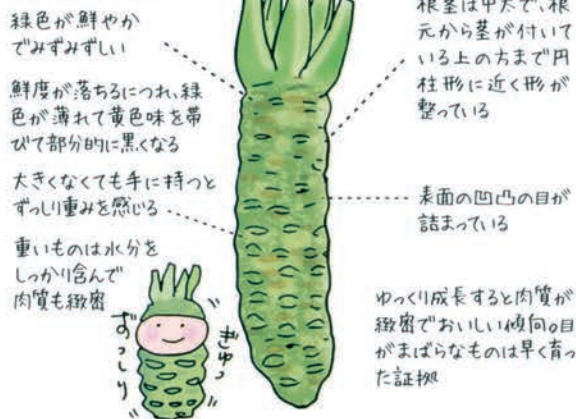
イラスト：小林裕美子

ワサビ

～日本原産の香辛野菜～



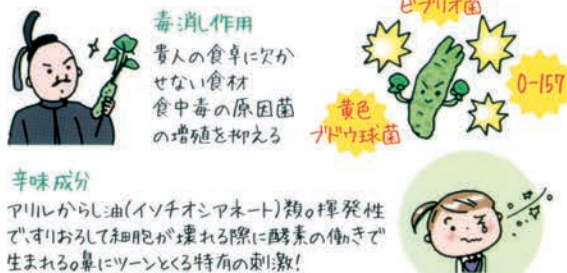
見分け方



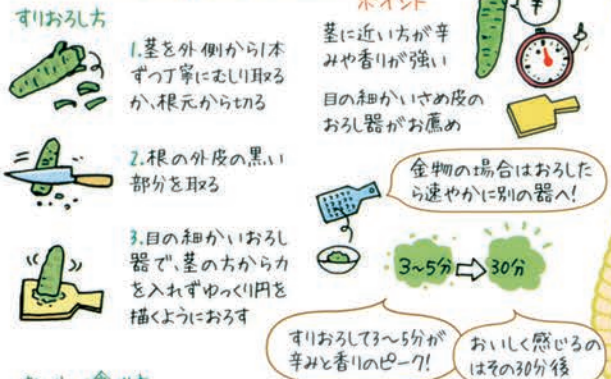
保存方法



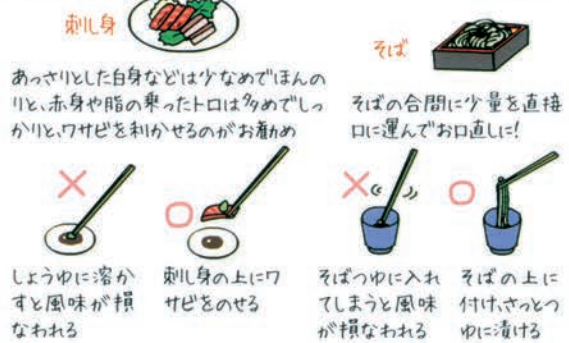
ワサビのチカラ



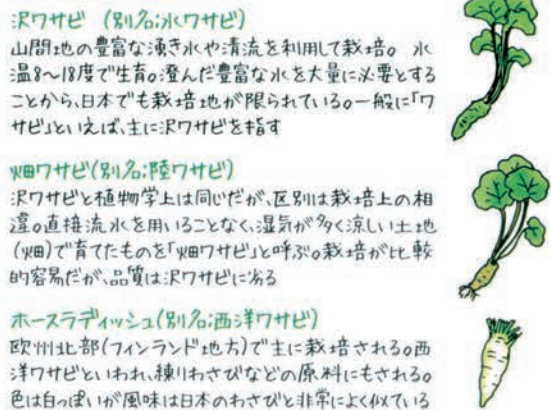
楽しみ方・食べ方のコツ



おいしい食べ方



ワサビのいろいろ



ワサビのヒミツ





地域を豊かに

地方再生のヒント

ゲノム編集は、遺伝子組み換えと判断したEU、 一方、表示義務さえなく導入を急いだ日本

その昔、ベルーの「イモ類研究所」のジーンバンクの入り口で、もろ刃の剣のレリーフ装飾を指さしながら、一人の学者がこう言いました。

「科学技術はもろ刃の剣です。使い方次第では人類を幸福にもすれば、災いをもたらします。ここで働く研究者たちは、そのことを日々、肝に銘じるようにしています」
昨今のゲノム編集を巡る報道を見ると、その言葉をしきりに思い出します。

米国で、ゲノム編集された小麦と大豆の販売が認可されたのは、まだ2018年のこと。国内でも血圧を下げるトマト、筋肉が4倍のマダイ、アレルギー物質の少ない卵、芽に毒のないジャガイモなどが、昨年10月から店頭に並びました。

まだ安全性は十分に保証されておらず、食べたくない人がいても、日本では表示義務さえありません。これを昨年9月19日に決定したのは消費者庁です。遺伝子を壊したり、置き換えるゲノム編集は、従来の品種

改良と変わらず、他の生物の遺伝子を挿入する遺伝子組み換えとは違うというのが理由です。米国の主張も同じ。ところが欧州連合（EU）議会は、一昨年、ゲノム編集を遺伝子組み換え食品と同じと見なし規制していく方針を決議しました。

日本政府は、なぜゲノム編集食品の導入を急ピッチで進めたのでしょうか？一国民として、納得できません。例えば将来、体に無害らしいという結果が出たとしても、私は、農家と生命産業が、大手企業に高度に管理されていくことや、生態系への負のインパクトを懸念しています。「安心・安全」をうたう食品が、環境に負荷を与え、アレルギーや疾病を増大させるのでは話にならないからです。

昨年10月、「日本の種子を守る会」の会合が、元農水大臣で弁護士士の山田正彦氏の事務所で開催されました。遺伝子組み換え作物を巡る世界の動きに通じた印鑰（いんやく）智哉氏も同席され、一同の合点がいったの

は、グリホサート系除草剤とセット販売の遺伝子組み換え作物にはもう火が付いた今、バイオ産業が次に望みを託したのがゲノム編集食品である、ということ。

遺伝子組み換え作物については、この数年、米国でも動向が急変、批判が高まっています。2016年、カリフォルニア州の70代の夫婦が、自宅の庭にグリホサート系除草剤を散布し続けたことでがんを発症したと訴えます。するとカリフォルニア州の裁判所は、その因果関係を認め、販売者のモンサント社（これを買収したバイエル社）に対し、総額2260億円もの支払いを命じる判決を下したのです。モンサント社の敗訴は3件目で、米国だけで同様の訴訟は約5万件控えているそうです。同国の消費者たちの声を反映した象徴的金額で、EUでも2024年からグリホサート系除草剤の販売を禁止予定です。一方、日本では、厚生労働省が発がん性を認められないとし、ホームセンターでもさまざまなラベルで売られています。

昨年春、会員約40万人の「生活クラブ」は、ゲノム編集食品は扱わな

いと発表。近く、この動きにさらに大きな消費者団体や大手コンビニチェーン店なども賛同するだろうという見通しもあります。ゲノム編集が、絶望的だった難病の治療などに貢献することは認めますが、「もろ刃の剣」の教えを、すべての研究者に忘れないでほしいものです。



「ゲノム編集の光と影」青野由利著。加速するゲノム研究の裏側をわかりやすく解説＝2019年2月刊・ちくま新書（左）と『売り渡される食の安全』山田正彦著。種子法廃止を受け、種子条例を制定した11道県の動きなど食の安全を巡る国内外の近年の動向を報告＝2019年8月刊・角川新書。年末には、米国の市民団体代表のゼン・ハニーカット氏が来日、12月2日の東京を皮切りに、全国7カ所を回り、米国の食を巡る現状などを報告した。

ノンフィクション作家 ● 島村菜津

免税軽油・農業労災保険の 受付をいたします

農業機械課では、令和2年度免税軽油申請と、農業労災加入手続きを行いますので、お早めの手続きをお願いいたします。

■申請手続き

免軽必要事項

印鑑、標識交付証明書
(トラクターなど入替増車の方)

労災必要事項

令和元年度分使用労働者数及び支払賃金、
令和2年度支払予定賃金

受付期間

1月8日(水)～1月17日(金)

受付時間

午前9時から午後4時まで

受付場所

研修センター会議室

※近年、免税軽油の不正利用防止のため、使用者への調査が強化されております。
免税軽油使用者証に未記載の機械への使用等、不正使用が発覚した場合は、罰則（免税証の不交付や過去3年に遡り返納など）が生じますのでご注意ください。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入しましょう。

農業機械課

窓口 研修センター ☎92-0588

JAびえいからの
お知らせ

JA Biei Information

JAカード新規入会キャンペーン の実施について

対象期間：**2019年12月1日(日)**
～2020年3月31日(火)

特 典：対象期間中にJAカードを新規入会（カード発行）した方に、わいわいポイント500ポイント（2,000円相当）を贈呈。
今お持ちのキャッシュカードをJAカード（一体型）にお切り替えも可能です！

さらにJAカードは・・・

初年度年会費無料！！（※次年度からも条件を満たせば無料になります）
ホクレンSSでガソリン1ℓあたり2円引き等の特典もあります！

ぜひ、この機会にJAカード入会してみませんか？

詳しくは金融店舗窓口までお問い合わせください。

窓口 貯金課 金融店舗 ☎92-4325

1月のパソコン講習会について

◆日 程◆

種 類	月 日	時 間	内 容	講 師	場 所
ソリマチ簿記 (パソコン)	1月15日(水)、16日(木) 17日(金)、22日(木) 23日(金)、24日(金) 27日(月)、28日(火) 30日(木)、31日(金)	① 9:00～11:00 ② 13:00～15:00	・ソリマチ簿記の使い方や勘定科目の設定など ・次年度更新の行い方 ・クミカンデータの転送の仕方	青申会	JAびえい 2階 PC研修室
ソリマチ簿記 (酪農)	1月29日(水)	13:00～15:00のみ	同 上	同 上	同 上

◆持参するもの◆

自分のパソコンで講習を受けたい方⇒**本体を持参してください。**

ソリマチ簿記を受講希望の方⇒

伝票入力の実習も行いたい場合は、今年のクミカン報告書と減価償却資産台帳を持参してください。

窓口 営農部 営農支援課 ☎68-7014

年末年始のJA業務時間のご案内

		30日(月)	31日(火)	1月1日(水)～3日(金)	4日(土)	5日(日)	6日(月)	7日(火)
金融店舗窓口		9:00～16:00	休 業				9:00～16:00	
A T M	金融店舗	8:45～17:00	休 業				8:45～17:00	
	ホクレンショップ玄関	9:00～18:00	9:00～17:00	休 業	9:00～17:00		9:00～18:00	
給 油 所	北 町	8:00～17:00	休 業		8:00～17:00			8:00～18:00
	大町セルフ	6:00～21:00						
上記以外の部門		8:30～12:00	休 業				8:30～16:00	8:30～17:00

【年始休業中の緊急対応】

項 目	連絡先
JA共済事故受付センター	0120-258-931
灯油・プロパン	92-2157

窓口 総務部 ☎92-2111

北町給油所の休業日と営業時間の変更について お知らせ

令和2年1月～3月までの北町給油所の営業時間が8:00～17:00に変更になります。
なお、大町給油所につきましては、変更はございませんので、大町給油所のご利用をお願い致します。

窓口 ホクレン北町給油所 ☎92-2157

春の新車フェア

令和2年1月1日～3月31日までのご成約を対象に「4メーカー新車全車種対象特別企画（トヨタ・スズキ・スバル・ミツビシ）」を開催中します！

《キャンペーン内容》

乗用車新車で購入でもれなくいずれかおひとつプレゼント！

- A.ホクレンSポイント30,000pt進呈
- B.フットマッサージャー
- C.ホームベーカリー
- D.任天堂Switch

軽トラックを新車でご成約の方はスタッドレスタイヤ4本（ホイール付き）プレゼント！

詳しくは、下記までお問い合わせください。

窓口 オートサービスセンター ☎92-2156

「丘の大地」リニューアルについて

この度、組合員向け広報誌「丘の大地」をリニューアルいたしました！

今後はフルカラーの誌面で、より皆さまにとって親しみやすい広報誌をめざしてまいります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

丘の大地

窓口 総務部 ☎92-2111

初春を迎えまして
皆様のご多幸をお祈り申し上げます

稲作生産部会
麦作生産部会
豆作生産部会
豆採種生産部会
酪農振興部会
乳牛検定組合
酪農ヘルパー利用組合
馬鈴薯生産部会
種子馬鈴薯生産組合
北西地区生食加工馬鈴薯団地
白金アスパラガス生産部会
ニンジン生産部会
百合根生産部会
とまと生産部会
メロン生産部会
長葱生産部会
青年部
女性部
フレッシュミセス会
農業機械協議会
年金友の会
報徳社

浦島規生 江花一治 田嶋知樹 松村重美 山本京子 山崎匡裕 柿崎紀宏 寺口方水 照本剛剰 小原和彦 横山茂弘 浦島貴之 馬場英之 増山勝範 岩田克彦 嵯峨裕之 菅野正誠 西野一史 佐藤隆幸 堀内豊隆 村井隆之
（順不同・敬称略）

協同の ちから

組合員数 正組合員 772人
准組合員 1,896人

貯金高 283億52百万円
貸付高 83億50百万円
出資金 11億23百万円
固定資産 51億00百万円

※百万円未満四捨五入（令和元年11月末）

気をつけましょう！

農作業事故発生状況

（12月15日現在）

発生件数	1件（21件）	《22件》
負傷	1人（20人）	《22人》
死亡	0人（1人）	《0人》

（ ）は元年度累計 《 》は去年同期累計
※負傷者数は農業労災加入者統計より

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

お正月と言えば、おせちにお雑煮、こたつでみかんと、つつい食べ過ぎてしまいます。食べ過ぎ予防の方法の一つとして、自分が食べたものを記録することが有効だそうです。自分が1日で食べたものの写真を携帯で残しておき、その日の夜に記録を振り返る……。何気なく食べていてわからなかったけれど、「私ったらこんなに食べていたの！」なんて気が付きが、止まらない食欲を抑えてくれるかもしれません。……と書いている私が、お正月明け、お餅のようにパンパンになっている予感がします。（麻）

こよみ
KOYOMI

1月の主な行事予定

1日(水)	元旦
6日(月)	J A 仕事始め 新年交礼会
10日(金)	美瑛養豚会家族交流会
13日(月)	成人の日
21日(火)	とまと生産部会定期総会
27日(月)	年金友の会湯治（～29日）